

不動産情報ポータルサイトに新機能

INA&Associates

物件をシステムが自動提案



INA&Associates
(大阪市)
稲澤大輔社長(31)

不動産の売買や賃貸の仲介事業、不動産会社向けのウェブサイトを構築事業を手掛けるINA&Associates(アイエヌエーアンドアソシエイツ・大阪市)は、運営するウェブサイト『Town Map(タウンマップ)』に、オンライン部屋探し機能『タウンマップウェブ支店』を11月より追加した。

『Town Map』は、不動産に関する総合的な情報を発信するサイトだ。「土地」「マンション」などのカテゴリごとに記事を掲載している。今回、新たに追加した『タウンマップウェブ支店』は、ユーザーの希望条件に合う賃貸住宅をシステムが自動で提案するというサービス。LINEやメールでの対応が可能。さらに、全物件の仲介手数料は、賃料の0・5カ月分(税別)となっている。

同社ではこれまで『Town Map』についての周知活動は特段していないが、情報を発信することで1日に100、200のPV数を集めている。稲澤大輔社長は「一過性の顧客ではなく、『顧客生涯価値』を重要視している」と話す。

例えば、賃貸仲介をして関係性が終わったように見える顧客でも、『Town Map』の情報を見てもらい続けることで、将来的に別の案件の顧客になる可能性がある。不動産売買でも仲介した物件の管理を受託し、何十年もの付き合いにつながるような顧客になり得るからだ。

そのため、『Town Map』は物件紹介ではなく、不動産情報のポータルサイトを目指しているという。信頼性を保つために広告サイトにはせず、検索流入などによる自然増でのユーザー増加を目指す。

また、今後も段階的にさまざまな機能を追加していく予定だ。年内には相互コミュニケーション機能を追加する。これは、チャットボットを使ったもので、ユーザーが今見ている情報の内容に沿った問い合わせをする機能を持たせるといふ。

「新機能を追加し、反応を分析してブラッシュアップすることを繰り返して、ユーザーが安心して閲覧することができるサイトに育てていきたい」(稲澤社長)